

全学教育科目
(年次報告(平成23年度後期・24年度前期) I
日本語・日本事情教育)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 原沢, 伊都夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007677

d) 浴衣の着付け (7月5日)

	5	4	3	2	1
日本語 I	2	2			
日本語 II	4	1			

e) 茶道 (7月6日)

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	3			
日本語 II	4	1			

〈ホームステイについて〉

Q1: 二泊三日のホームステイはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2	1	1		
日本語 II	1	3	1		

〈日本での交流について〉

Q1: 皆さんが日本で生活しているとき、いろいろな人が関係していました。日本での交流はどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2	2			
日本語 II	3	2			

【総括および展望】

2012年度は、従来の朝鮮大学校のみならず、アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校からも学生を受け入れたことが特徴である。2013年はさらに門戸を広げ、カナダ・アルバータ大学からも学生を2名受け入れ、より国際色豊かなサマースクールとする予定である。

全学教育科目

原沢 伊都夫

平成23年度後期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅲ・Ⅳ、2年生向けに日本語Ⅵが開講され、浜松キャンパスでは日本事情が1・2年生合同クラスで開講された。24年度前期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅰ・Ⅱ、2年生向けに日本語Ⅴが、静岡キャンパスで1・2年生向けに日本事情が開講された。なお、新カリキュラムでは日本語・日本事情科目はすべて選択となったが、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては日本語力が基準を超えていると判断された場合以外は原則として受講することとなっている。なお、学生数に*印のある科目はセンター以外の教員が担当している。

23年度後期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅲ	選択	1年	16	19
日本語Ⅳ	選択	1年	*11	15
日本語Ⅵ	選択	2年	18	9
日本事情	選択	1・2年	*17	

24年度前期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅰ	選択	1年	10	16
日本語Ⅱ	選択	1年	*12	15
日本語Ⅴ	選択	2年	13	15
日本事情	選択	1・2年		15

*は他学部教員が担当